



【2016. 6. 8】

・写真①はジオネット1.2mmに数日前に発芽したイタドリの新芽です。近くの爪楊枝の直径が2.2mmなので、新芽の幹径がそれよりも細いのが分かります。問題は今後どこまで太るかです。

・写真②は昨年の夏に施工した網戸用のネット(1.2mm×1.0mm)の箇所の状況です。イタドリの葉は小さく、赤くなっています。これがどういう意味なのか、今後観察していきます。なお、この網戸用のネットは伸縮性があり若干伸びることが分かりました。実際の目合いは1.4mm程度になっているようです。

・写真③はジオネットを布設している箇所で共通して見られる現象です。葉に虫食いのような穴があき、色づいています。一部のイタドリは枯れたものもあります。ジオネットがイタドリにダメージを与えていることは間違いない事実のようです。今後この点を注視していきます。

・写真④はジオネットを布設していない部分の状況です。③の写真にくらべるとイタドリの葉が健康そうに元気に育っていることが分かります。

・植物の葉が枯れるのは、葉に残っている養分を地中の地下茎に送り出すからです。地下茎に養分を蓄えて、成育しやすい別の場所で発芽させるための準備をしている可能性があります。